

## 様式 2.

※本様式は、コンサルタントによる軽微な変更との判断に基づき、JICA に事後の申請として提出するもの。  
変更項目ごとに、A4 版 1 枚程度に変更内容をまとめる（現場写真、既存図面等別添資料の添付は可）。

### 軽微な設計変更の申請及びコンサルタントの技術的見解 (事後申請用)

独立行政法人国際協力機構  
資金協力業務部長 殿

(提出年月日)  
(コンサルタント名)  
(業務主任者氏名)

#### 1. 変更内容

\* 該当をマークして、変更内容を記載。必要あれば図面等も添付する。

- 規格の変更   現場合わせ   施主の使い勝手からの細部の変更   井戸掘削   調達事情の変化  
入札図書の仕様と同等又はそれ以上である提案（増額はしない）   その他  
[変更内容]

#### 2. 変更理由

\* 該当をマークして、変更理由を記載。

- 自然条件の影響（気象・海象・地盤・その他）   不可抗力（治安・自然災害・その他）  
地下埋設物の影響   施主の要望   先方負担事項の影響   その他  
[変更理由]

#### 3. コンサルタントの技術的見解

#### 4. 積算根拠

\* やむを得ず申請時に変更金額及び積算根拠が遅れる場合には概算金額も可（本申請提出 2 週間後又は竣工期限の 2 ヶ月前（予備的経費試行案件で、特定資材の価格調整を行う場合は 3 ヶ月前）のどちらか早い時点までに積算内訳を提出し、当機構の承認を得ることが必要）

#### 5. 要請内容の妥当性

\* 調査時の設計基本方針との整合、先方実施機関からの要請の取り付け（口頭含む）の有無等も含め妥当性につき記述する。